

氏名	桑名 恵 KUWANA Megumi
所属	グローバル協力センター
職名	講師
学位	博士（人間科学）／ Ph D
専門分野	国際協力
URL	
E-mail	kuwana.megumi@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

国際協力
平和構築
人道支援
N G O
市民社会

International Collaboration
Peacebuilding
Humanitarian Assistance
NGO
Civil Society

主要業績

桑名 恵「プロジェクト評価の限界」中村安秀編『最終報告書 人道支援に対する地域研究からの国際協力と評価』（文部科学省 世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業「人道支援に対する地域研究からの国際協力と評価」）2011年3月.

外務省 『平成22年度外務省第三者評価 日本NGO連携無償協力の評価報告書』2011年3月（評価アドバイザーとして、「提言」「カンボジア調査報告」の章を担当）

研究内容 / Research Pursuits

・人道支援における国際援助の外部者性： 援助者と被援助者の非対称的な関係性の中で、被援助者の主体性を高めるための援助の仕組みの課題と今後の動向

・紛争後の市民社会支援の課題と展望： 紛争後の社会再建における市民社会支援の重要性が認識されているが、これまで社会の固有要因に配慮した市民社会支援の在り方についての根源的な議論が欠落していた。3地域（東ティモール、アフガニスタン、南スーダン）を事例とし、紛争後の復興過程における市民社会、コミュニティの変容を、緊急・復興支援政策研究と地域研究の視点から多面的に精査することで、今後の市民社会支援の在り方について再検討する。

・ Analysis of Outsiders' influence on humanitarian aid policy and practice.

・ Challenges and Perspectives on Civil Society Engagement in post-conflict peacebuilding process (Case studies of Timor Leste, Afghanistan, South Sudan).

■ 教育内容 / Educational Pursuits

- 開発社会学
- 国際N G O 論
- 人道支援論
- N P O と国際公共政策
- 援助における実践と研究のつなぎ
- Sociology of Development
- International NGOs
- Humanitarian Assistance
- NGOs' involvement in international public policy
- Bridging between research and practice in international aid policy

■ 研究計画

人道支援、平和構築支援においては、災害や紛争の原因について配慮しながら、複雑で多様なコミュニティ、市民社会の立場を偏りなく体現させつつ、現地主導のプロセスを伴った支援の実践が鍵となる。しかしながら、従来の市民社会支援は、コミュニティ、市民社会の構成員ではない国際援助機関を通じた支援として対応されることが多かった。人道支援実践者、地域研究者との共同研究を通じて、対象コミュニティにおける市民社会の実態を、主要援助機関やNGOのみならず、コミュニティの構成員による住民組織グループ、学校、住民がどのように主体的にかかわることが可能なのか、求められる市民社会支援の在り方の考察を目指す。

■ メッセージ

グローバル化の中、国境を超える様々な新しい社会問題が生じています。その解決のためには、ひとりひとりがそれらの問題を他人事ではなく、自分事として捉え、問題解決のために行動すること。それらの行動を活かす柔軟で新しい社会の仕組みを作ること、が必要とされています。授業やサークル活動を通じて、身近な社会問題に目を向けて、「既存の社会の枠組み」を前提とせず、一市民としてどのように行動できるのかを分析し、考える機会を増やして下さい。グローバル協力センターでは、「共に生きる」スタディグループがあります。ぜひ参加して下さい。